

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系 7月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『正札附根元草摺』				
	『通し狂言 夏祭浪花鑑』	○			
	『悪太郎』	○		○	○
	『修禅寺物語』	○			
	『天守物語』	○			
新橋演舞場	『朗らかな嘘』	○	○		
	『六十五周年御礼 ご挨拶』		○		
	『裏町の友情』	○	○	○	○
	『船場の子守唄』	○	○		
	『お祭り提灯』	○	○		
南座 (京都)	『出発』	○		○	
	『桂米朝一門会』			○	○
	『曾根崎心中』			○	○
	『山内恵介プレミアムステージ』			○	○
松竹座 (大阪)	『天保遊侠録』	○			
	『吉野山雪の故事 女夫狐』	○			
	『菅原伝授手習鑑 寺子屋』	○			
	『伊賀越道中双六 沼津』	○		○	○
	『身替座禅』	○			
	『真景累ヶ淵 豊志賀の死』	○			
	『女伊達』				
まつもと市民芸術館	『三人吉三』	○		○	○
地方巡業 (中央コース)	『太閤三番叟』	○			
	『四代目市川猿之助 九代目市川中車 襲名披露口上』			○	
	『一本刀土俵入』	○			
地方巡業 (東コース)	『双蝶々曲輪日記 角力場』	○			
	『三代目中村又五郎 四代目中村歌昇 襲名披露口上』			○	
	『傾城反魂香』	○			
海外公演 平成中村座 (NY)	『怪談乳房榎』	○		○	○

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

(新着資料案内 続き)

■ 他社演劇公演資料 ■

赤坂ACTシアター	7月	『タンブリングFINAL』プログラム、台本
赤坂RED/THATER	7月	ワンツーワークス『毒舌と正義』プログラム、台本
劇団民藝稽古場	7月	劇団民藝『アンネの日記』プログラム
劇団俳優座稽古場	7月	劇団俳優座『フューリアス』プログラム、台本
国立劇場小劇場	6月	『雅楽を楽しむ』プログラム 『声明を楽しむ』プログラム 『日本舞踊を楽しむ』プログラム 『邦楽を楽しむ』プログラム 『日本音楽の光彩 現代に息づく響き』プログラム 『文楽若手会』プログラム
国立劇場大劇場	7月	歌舞伎鑑賞教室『傾城反魂香』プログラム
国立文楽劇場	6月	『文楽鑑賞教室』プログラム 『文楽若手会』プログラム
座・高円寺1	6月	ミナモザ『WILCO』プログラム
シアタークリエ	6月	『キャッチ・ミー・イフ・ユー・キャン』プログラム
Space早稲田	7月	流山児★事務所『義賊☆鼠小僧次郎吉』プログラム、台本
青年座劇場	7月	劇団青年座『Act 3D』プログラム
世田谷パブリックシアター	7月	『ブラックメリーポピンズ』プログラム
帝国劇場	6月	『シスターアクト』プログラム
東京芸術劇場シアターイースト	6月	江戸糸あやつり人形座『アルトー24時再び』プログラム、台本
日生劇場	6月	『昔の日々』プログラム、台本
博多座	7月	『宝塚歌劇・月組博多座公演』プログラム、ポスター
博品館劇場	6月	『第12回朗読の日』プログラム
	7月	『アガサ・クリスティー サスペンスオムニバス』プログラム
本多劇場	6月	加藤健一事務所『請願』プログラム
明治座	7月	『五木ひろし 歌・舞・奏Special』プログラム
ルネッサながと	7月	第2回近松文楽『曾根崎心中』床本

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『好きっていいなよ。』	○	○	○		○
『THE NEXT GENERATION パトレイバー 第3章』	○	○	○		○
『シネマ歌舞伎 歌舞伎クラシック 第2弾』	○		○		

■ 映画プログラム ■

『るろうに剣心 京都大火編』 『複製された男』 『ダイバージェント』
『渇き。』 『ジゴロ・イン・ニューヨーク』 『マレフィセント』
『パガニーニ 愛と狂気のヴァイオリニスト』
『DOCUMENTARY of AKB48 The time has come 少女たちは、今、その背中に何を想う?』

(新着資料案内 続き)

■ 演劇雑誌 ■

- 『あぜくら』2014年7月号
『演劇界』2014年8月号,9月号
『演劇創造』2014年43号
『演劇ぶっく』2014年8月号
『C o n f e t t i』2014年AUGUST
『喝采』2014年10月号
『国立演芸場公演ガイド』平成26年8月号
『シアターガイド』2014年9月号
『ジ・アトレ』2014年6月号
『J P L』2014年Summer No. 54
『ジョイン』2014年81号,上演記録に関する調査
報告書正会員団体上演記録2013年
『SePT倶楽部 i n f o r m a t i o n』2014年7月
『ステージぴあ』2014年7+8月号
『テアトロ』2014年8月号
『伝統文化新聞』2014年98号
『長唄』115号
『日本演劇興行協会会報』46号
『日本芸術文化振興会ニュース』平成26年8月号
『日本照明家協会誌』2014年7月号
『日本舞踊』66巻8月号
『悲劇喜劇』2014年8月号
『ひろば』2014年130号
『舞台芸術研究』18号,19号
『ほうおう』2014年9月号
『邦楽の友』平成26年8月号
『ミュージカル』2014年7月-8月号
『ラ・アルプ』2014年8月号

■ 映画雑誌 ■

- 『日本アカデミー賞』2014年
『ドラマ』2014年8月号
『映画芸術』2014年448号
『映画ビジネス』平成26年7月上旬号
『映画時報』2014年6月号
『映画テレビ技術』2014年8月号
『映画秘宝』2014年9月号
『映画論叢』36号
『衛星劇場プログラムガイド』2014年8月号
『エキブ・ド・シネマ』2014年No. 200
『キネマ旬報』2014年7月下旬号,8月上旬号,8月下旬号
『ザ・テレビジョン』2013年8/23号,8/30号,9/6号
『シナリオ』2014年9月号
『シナリオ教室』2014年8月号
『シネ・フロント』2014年6月号
『松竹(社報)』2014年182号
『SCREEN』2014年9月号
『TVガイド』2013年8/23号,8/30号,9/6号
『東映キネマ旬報』23号
『友 I w a n a m i H a l l 』2014年夏号No. 382
『日経エンタテインメント!』2014年8月号
『ロケーションジャパン』2014年8月号

≫≫ 資料提供 (2014年6月~2014年7月)

※許可を得た方のみ掲載しております

展示

- 三井記念美術館 「美術の遊びとところ7」『能面と能装束 みる・しる・くらべる』特別展示:三越伊勢丹所蔵歌舞伎衣裳「名優たちの名舞台」 2014年7月24日より9月21日
歌舞伎俳優が着用した衣裳の解説として、当時の名優の舞台写真をパネルにして展示

出版

- 『松竹 I S S U E 1 8 2』 2014年7月22日 松竹株式会社
『松竹社報 第117号』(1960年1月「わが職場」)を提供。以後一年間にわたり、社内報に1960年12月までの記事を提供予定。

プログラム掲載

- 「大阪松竹座六月公演『母をたずねて膝栗毛』」 2014年6月3日より27日 大阪松竹座
昭和22年5月有楽座筋書の表紙を公演プログラムの記事に提供
●「六月博多座大歌舞伎」 2014年6月2日より26日 博多座
『演劇界』昭和25年5月号グラビア(『雁のたより』二代目中村鴈治郎)を公演プログラムの記事に提供

放送

- 『徳光和夫の名曲につぼん』BS ジャパン 2014年7月30日21:00~21:54
『国際劇場』外観スチール写真を提供

三井記念美術館 『能面と能装束～みる・しる・くらべる～』展

飯塚美砂

7月24日から9月21日まで、日本橋の三井記念美術館で『能面と能装束～みる・しる・くらべる～』展が開催されています。

重要文化財級の茶道具や書画などを中心に、“通”好みの展覧会を開催することの多い三井記念美術館ですが、夏はく美術の遊びとところ>と銘打って、若い年齢層にも親しみやすい展覧会を企画しています。

今年は、三井記念美術館が所蔵する能面と装束に加え、三越衣裳部（現三越伊勢丹）が保管してきた歌舞伎衣裳も展示し、能の装束と歌舞伎の衣裳を同時に観ることができる斬新な催しとなりました。

展示室内へ進むとまず、フロアの中央に置かれたガラスケースのなかで幻想的に浮かぶ旧金剛宗家伝来の能面が迎えてくれます。“秀吉が愛した小面（こおもて）「花」や“木目の染みが、外そうとして外れず肉までむしれた血の跡のように見える「不動」”など、興味をそそる解説とともに、光の当たり方によって変わる表情を間近で見ると、その趣はひとしおです。また、裏側からも眺めることができるため、演者が面（おもて）をかけたときの視界まで自分で確認することができます。役柄の似ている面を並べて比較するコーナーもあり、こちらは夏休みの自由研究にもお勧めです。

続く能装束の展示室には、能を愛好した三井家が、自らの演能のためにあつらえた装束がならび、その意匠の高尚さ、技術の高さに、ため息が出ます。



最後の歌舞伎衣裳の展示室には、九代目市川團十郎、五代目中村歌右衛門、六代目尾上梅幸、六代目尾上菊五郎、七代目松本幸四郎、初代中村吉右衛門という名だたる歌舞伎の名優が舞台上で実際に着用した衣裳が並んでいます。松竹大谷図書館では三井記念美術館から、その衣裳を当時実際に着用した姿がわかるものはないかというご相談を受け、三越に残されていた書付を手掛かりに当時の歌舞伎絵葉書（プロマイド）や演劇雑誌のグラビア頁を調査しました。幸いなことに、当時大変人気の俳優だっただけにそれぞれ残されている写真も多く、求めているものを九割がた見つけ出すことができました。衣裳の実物の横に並べてパネル展示していただいています。

13点出品されている歌舞伎衣裳は、どれも明治、大正、昭和戦前に使用されたものとはとても見えないほど保存状態がよく、またその材料や刺繍、織といった技術も、現在ではおそらく再現不可能と思われる見事なものです。往時の舞台を知る方々から、昔の衣裳は重量感があって豪華だったというお話をよく聞いてはいましたが、現物を目にして納得しました。そしてこれだけの衣裳に負けない名優の存在感も想像できる気がしました。なかでも、明治期の歌舞伎衣裳としてはおそらく唯一の現存品である九代目市川團十郎着用『大森彦七』の直垂（ひたたれ）は、歌舞伎独特に誇張される衣裳の多い中、写実を旨とした活歴劇で使われた実際の直垂に近い衣裳として歴史的にも意味のあるものです。



近頃は、より興味を持って展示品を見てもらうために趣向を凝らす美術館や博物館が増えてきています。この展覧会でも、歌舞伎衣裳の展示室に足を踏み入れた途端、そのあでやかさに目がくらむような気がしま

した。歌舞伎衣裳自体が華やかなせいもありますが、実際の舞台上で映える様子をイメージできるように、明るめの照明を使っているとのこと。前述の能面では幻想的な雰囲気を感じられるライティング、能装束の展示室では、“式楽”という重厚さを感じつつ、その細かいデザインのひとつひとつをよく見ることができるよう、能舞台と同じような落ち着いた照明をつかうという細かい配慮が心憎いばかりです。

また、今回のテーマのひとつ“くらべる”については、能面ばかりでなく、能装束と歌舞伎衣裳を同時に展示して観ることによって、能は格式と雰囲気を重視し、一方歌舞伎は『寺子屋』の松王丸の雪持ちの松、『藤娘』の藤の花などに代表されるように図像や色で、着る役柄の性根や立場を端的に表しているということがよくわかります。普段はあまりに見慣れて気にしていないことでも、それぞれを並べて見ることで再認識できることもあり、美術ファンのみならず、能楽ファン、歌舞伎ファンから見ても楽しめる企画となっています。

幽玄な能舞台、そして伝説の名優たちの舞台姿を思い浮かべながら、是非ご覧になってください。



右下に見えるのが、当館が写真の資料提供を協力したスチールのパネル展示



=====

〈美術の遊びとこころVII〉『能面と能装束—みる・しる・くらべる—』

特別展示 三越伊勢丹所蔵 歌舞伎衣裳「名優たちの名舞台」

会期:2014年7月24日(木)~9月21日(日)

会場:三井記念美術館 東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号 三井本館7階

開館時間:10:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日:月曜日(※但し8/11(月)、8/15(月)は開館)

<http://www.mitsui-museum.jp>

=====

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2014（平成26）年7月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

とでも暑い夏ですが、暑さに負けず、スタッフ一同頑張ります！

一緒に図書館で働きながら、図書館業務を経験していただきます。

2週間、スタッフと一緒に図書館で働かれています。実習生の方には実習生を受け入れていただきます。

例えば「実習館」として実習生を受け入れていただきます。

2週間、スタッフと一緒に図書館で働かれています。実習生の方には実習生を受け入れていただきます。



閲覧室で各自作業中です

■ 編集後記 ■

▼右記でお知らせしたとおり、現在、夏季特別整理休館に入っております。開館中は整理業務に使用できない閲覧室に資料を広げて、作業を行っております。

今回の夏季特別休館では3年ぶりに図書館実習の大学生1名を受け入れました。大学で図書館司書の資格をとるためには、必要な科目を受講して資格を取りますが、そのひとつに選択科目として「図書館実習」があります。実習生を受け入れる図書館のことを「実習館」といい、当館は、大学側から要望があり、こちらのスケジュールとも合

▼引き続き、当館で使用している図書管理システムを新システムへ移行中につき、資料の新規登録が出来ない状態になっております。そのため今月の資料案内は「新着資料案内」のみとさせていただきます。

（旧）ADK松竹スクエア↓（新）銀座松竹スクエア

■ お知らせ ■

▼7月1日より当館が入居しているビルが左記のとおり変更になりましたので、お知らせ申し上げます。

■夏季特別整理休館のお知らせ■

平成26年8月2日（土）より8月17日（日）まで、資料整理のため休館いたします。

8月18日（月）より通常どおり開館いたします。



● 交通案内 ●

東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分

東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

● 利用案内 ●

開館時間

平日午前10時～午後5時

休館日

土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間

※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびウェブサイトに掲示します。

入館料 無料

閲覧 館内閲覧のみ